

(評価 A:目標を上回った B:ほぼ目標どおり C:やや目標を下回った D:かなり目標を下回った)

	評価項目	具体的計画(評価指標)	学校自己評価	関係者評価	結果の分析及び改善方策
学校経営目標(教育目標等)	1 学校教育目標は、地域・学校児童の実態に合っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が共通理解をしての設定 行事、儀式等での全校児童への意識付け 各学年での児童への意識付け 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> この目標に関しては、めざしすぎてもよい目標で、今後も努力して欲しい。 目標は高ければ高いほどよい。
	2 学校教育重点目標は、児童・学校・地域の実態に合っている。	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の「土台づくり」の視点を位置づける。 4つの重点の実践化を図る。「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「体力・健康の向上」「信頼される学校」 	A		<ul style="list-style-type: none"> 「確かな学力の向上」に力を入れなければいけない。
	3 目指す児童像は、児童・学校・地域の実態に合っている。	<ul style="list-style-type: none"> 全職員の共通理解での取組 「やさしく」「かしこく」「つよく」の浸透を図る。 	A		<ul style="list-style-type: none"> さらに取組を充実させる。
教育課程・学習指導	4 授業時数を確保し、作成した年間指導計画に従って教育課程を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画をもとにした実践 学期ごとの授業時数の集計確認、授業時数の確保 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数は、確保できている。
	5 基礎基本の定着を図るとともに、工夫した指導により学習意欲と学力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習の充実 特別支援の視点を視野に入れた授業づくり 岡山型授業5を取り入れた授業づくり 学力調査等の検証による授業の改善 	B		<ul style="list-style-type: none"> 我が家の孫が元気で学校に行き、楽しかったと帰ってくる。勉強はどうあれ、これだけで十分。
	6 学びの土台である学習規律の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学習規律の徹底 服装、持ち物についての保護者との共通理解 	B		<ul style="list-style-type: none"> 保護者との話し合いを密にすることは大切だと思う。(年に数回)
生徒指導	7 教職員全体として児童支援(生徒指導)に取り組む体制づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 即報告、即連絡、即相談、そして即組織的対応を徹底し、年間を通して定着を図った。 晩会での児童の情報交換を行う。全体で共有すべきことは、その都度、校長・生徒指導主事等が確認する。 生徒指導主事を中心に、組織で対応する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談・確認が徹底できている。 晩会、教育的井戸端会議等で情報共有、共通理解、共通行動ができている。
	8 児童がお互いに理解し認め合う、豊かな人間関係づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り活動の実施(清掃活動・行事・わくわく班遊び) なかよし週間、教育相談を通して、児童同士、教師と児童の人間関係づくりに努める。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 上の学年を呼び捨てにするのが気になる。フレンドリーでいいが、このまま大きくなってほしくない。
	9 保護者と連携協力して、基本的生活習慣を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> すこやか委員会の取組 メディアコントロールの取組 パワーアップチャレンジ週間の取組 	B		<ul style="list-style-type: none"> 早寝の習慣を保護者と連携して取り組む必要がある。
保健管理・安全管理	10 学校安全全体計画等を作成し、学校内外での児童生徒の安全確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検の実施 安全な登下校指導 各種避難訓練の実施 教職員の危機管理への意識の向上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 日が短くなり、下校時が暗くなり、帰りが心配。
	11 心身の健康相談活動を充実し、心のケア等に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談の実施 Q.Uの実施 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用 	B		<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと家庭をつなぐ工夫が必要である。
	12 児童生徒の生活リズムを確立し、学習と生活の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> パワーアップチャレンジの実施 保護者家庭との連携強化 健康朝会の実施 	B		<ul style="list-style-type: none"> 早寝の習慣を保護者と連携して取り組む必要がある。(再掲)
特別支援教育	13 校内委員会の開催や研修を通して、特別支援教育の体制づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を深める就学指導の実施 個別の配慮事項の共通理解 校内ケース会議、保護者を交えての懇談会 職員研修の充実 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援コーディネータを中心に特別支援教育推進の体制づくりができている。
	14 個別の支援計画、気づき表を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援計画の作成 達成度の確認や見直し、手直し 	A		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な見直しができている。
	15 個のニーズに合わせて指導するとともに、他の児童や保護者に理解を求める。	<ul style="list-style-type: none"> 多角的児童理解、個に応じた指導の徹底 保護者との連携を密に 指導の一貫性と継続性 S.S.Wやカウンセラー、関係機関との連携 	B		<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育を進めている。
学校・家庭・地域の連携・協働	16 保護者や地域住民に対して、積極的に学校を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観等学校公開 学校だよりの配布 HP 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に先生方の参加がもっとあった方がいいと思う。
	17 学校評価の結果や学校学級の様子など学校の情報を、積極的に提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート、児童アンケートの実施と結果の公表 学校だよりのHPでの情報発信 報道機関を活用しての学校の取組の発信 	A		<ul style="list-style-type: none"> HPの更新をしっかりとすべき。 学校評価は、HPで公開している。 児童、保護者アンケートは、学校だよりに概要を掲載している。
	18 授業や教材の開発に、地域の教育資源や人材を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動の継続(地域との連携・協働) 地域の教育資源の積極的活用 コミュニティスクールの充実 	B		<ul style="list-style-type: none"> コロナ前に戻す、または、それ以上に必要がある。
学校の重点	19 多角的児童理解を基盤とした教職員と児童・家庭との良好な人間関係づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が多角的児童理解を実践的に理解する場を確保する。 「信頼」の礎である問題行動発生時の即報告・即対応を徹底する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 徹底した個への関心を深める。
	20 インクルーシブ教育の視点に立った学校運営(特別支援教育等)を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「違い」を知り、正しく行動できる児童を育成する。 	A		<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育をさらに推進する。